# 給与支払報告書(個人別明細書)記載に係る注意点

⑨ 給与支払報告書（個人別明細書）

| ※ | | ※種別 | ※整理番号 |
|---|---|---|---|
| | | | |

| 支払を受ける者 | ※区分 | | (受給者番号) | ００６０９ |
|---|---|---|---|---|
| | 住所 | 富士宮市弓沢町〇番地 | (個人番号) | 1234 5678 9012 |
| | | | (役職名) | |
| | | | 氏名 | (フリガナ) フジノミヤ　タロウ<br>富士宮　太郎 |

| 種別 | 支払金額 | 給与所得控除後の金額（調整控除後） | 所得控除の額の合計額 | 源泉徴収税額 |
|---|---|---|---|---|
| 給料・賞与 | ⑧ 内 6,500,000 円 | ⑨ 4,760,000 円 | 4,380,325 円 | 内 0 円 |

| (源泉)控除対象配偶者の有無等 | | 配偶者(特別)控除の額 | 控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。) | | | | | | 16歳未満扶養親族の数 | 障害者の数(本人を除く。) | | 非居住者である親族の数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 老人 | | 特定 | 老人 | | その他 | | 特親 | | 特別 | その他 | |
| ©有 | 従有 | ⑦ 260,000 円 | ⑧ 人 | ⑨ 内 1 | ① 人 1 | 従人 | ⑨ 内 1 | ① 人 | 従人 | 人 | 従人 | ⑨ 人 | ⑨ 内 1 | ① 人 | ⑨ 人 2 |

| 特定親族特別控除の金額 | 社会保険料等の金額 | 生命保険料の控除額 | 地震保険料の控除額 | 住宅借入金等特別控除の額 |
|---|---|---|---|---|
| 円 510,000 | ⑥ 汚小規模共済等掛金 110,000 円 690,325 | ⑥ 円 120,000 | ⑥ 円 50,000 | 円 18,950 |

(摘要)
前職：富士宮商事（株）　富士宮市中央町〇番〇号　R8.4.10退職
給与支払金額1,638,000円　源泉徴収税額50,112円　社会保険料199,300円
（1）富士宮　五郎（年少）（非居住者）

| 生命保険料の金額の内訳 | 新生命保険料の金額 | ⑤ 100,000 円 | 旧生命保険料の金額 | ⑤ 円 | 介護医療保険料の金額 | ⑤ 85,000 円 | 新個人年金保険料の金額 | ⑤ 円 | 旧個人年金保険料の金額 | ⑤ 120,000 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 住宅借入金等特別控除の額の内訳 | 住宅借入金等特別控除適用数 | 1 | 居住開始年月日（1回目） | 年 月 日 H29.10.1 | 住宅借入金等特別控除区分（1回目） | 住(特家) | 住宅借入金等年末残高（1回目） | 円 10,000,000 | | |
| | 住宅借入金等特別控除可能額 | 円 100,000 | 居住開始年月日（2回目） | 年 月 日 | 住宅借入金等特別控除区分（2回目） | | 住宅借入金等年末残高（2回目） | 円 | | |

| (源泉・特別)控除対象配偶者 | (フリガナ) フジノミヤ　ハナコ<br>氏名 富士宮　花子 | 区分 | 配偶者の合計所得 | ⑦ 円 | 国民年金保険料等の金額 | 円 | 旧長期損害保険料の金額 | ⑦ 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 個人番号 1234 5678 9013 | | | | 基礎控除の額 | 円 | 所得金額調整控除額 | 円 |

| 控除対象扶養親族 | | | | 区分 | | 16歳未満の扶養親族 | | | 区分 | 5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | (フリガナ) | フジノミヤ　イチロウ | | | 01 | 1 | (フリガナ) | フジノミヤ　ジロウ | | |
| | 氏名 | 富士宮　一郎 | | | | | 氏名 | 富士宮　次郎 | | |
| | 個人番号 | 1234 5678 9014 | | | | | 個人番号 | 2234 5678 9017 | | |
| 2 | (フリガナ) | フジノミヤ　サキコ | | | 30 | 2 | (フリガナ) | フジノミヤ　サブロウ | | |
| | 氏名 | 富士宮　咲子 | | | | | 氏名 | 富士宮　三郎 | | |
| | 個人番号 | 1234 5678 9015 | | | | | 個人番号 | 2234 5678 9018 | | |
| 3 | (フリガナ) | タヌキ　ヨシ | | | | 3 | (フリガナ) | フジノミヤ　シロウ | | 5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号 |
| | 氏名 | 田貫　よし | | | | | 氏名 | 富士宮　四郎 | | |
| | 個人番号 | 1234 5678 9112 | | | | | 個人番号 | 2234 5678 9019 | | |
| 4 | (フリガナ) | | | | | 4 | (フリガナ) | フジノミヤ　マスコ | | (1)223456789023 |
| | 氏名 | | | | | | 氏名 | 富士宮　鱒子 | | |
| | 個人番号 | | | | | | 個人番号 | 2234 5678 9020 | | |

| ⑫未成年者 | 外国人 | 死亡退職 | 災害者 | 乙欄 | 本人が障害者 ⑰特別 | 本人が障害者 ⑱その他 | ⑭寡婦 | ⑮ひとり親 | ⑰勤労学生 | 中途就・退職 就職 | 中途就・退職 退職 | 中途就・退職 年月日 | 受給者生年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | ○ | R8.5.20 | S30.6.10 |

| 支払者 | 個人番号又は法人番号 | 1 2345 6789 0123 |
|---|---|---|
| | 住所（居所）又は所在地 | 富士宮市弓沢町150番地 |
| | 氏名又は名称 | 株式会社シミンゼイ　（電話）0544-xx-xxxx |

（市区町村提出用）

これらの注意点は、個人住民税の課税に際し、特にご留意いただきたい点に絞って記載したものです。その他の記載の仕方等については、国税庁「令和8年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」をご確認ください。

令和8年分　給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引【国税

①□受給者の令和９年１月１日現在における住民票上の住所を記載してください。

②□個人番号及びフリガナの記載漏れがないようご注意ください。

③□専従者給与に該当する場合は、「専従者給与」と記載してください。

④□④に扶養親族等の数を記載する場合は、⑨に対象者の氏名及び個人番号を記載してください。

⑨□＊１６歳未満の扶養親族等は控除対象ではありませんが、住民税の非課税判定等に影響するため、記載漏れがないようご注意ください。

□国外居住親族を扶養親族等としている場合は、⑨の「区分」欄に番号を付してください。

＊年末調整をしていない場合、又は送金関係書類等を確認していない場合は、国外居住親族を扶養親族等とすることはできませんので、④及び⑨には記載しないでください。

＊非居住者を扶養親族等とする場合の確認書類は、国税庁「令和８年分年末調整のしかた」等を確認してください。

⑤□生命保険料控除については、⑤に控除額を、⑦に支払額をそれぞれ記載してくだ
⑦ ＊生命保険料控除は、所得税と住民税では控除額が異なるため、⑦についても記載漏れがないようご注意ください。

⑥□他の支払者の給与等を通算した場合は、他の支払者の所在地、名称、退職日、給与等の金額、源泉徴収税額、社会保険料の金額等を記載してください。

□普通徴収対象者分については、該当する切替理由の略号を記載してください。
（略号……ａ：総受給者数が２名以下、ｂ：他の事業所で特別徴収又は普通徴収として扱う乙欄該当者、ｃ：給与から税額が引ききれない者又は住民税が非課税の者、ｄ：給与の支払が不定期、ｅ：事業専従者、ｆ：退職者又は退職予定者及び求職者）
ただし、「乙欄」又は「退職」に〇を付してあるものは、略号の記入を省略して

□租税条約の適用を受ける方については、国名と条約名を明記してください。

□訂正により再度提出する場合は、「訂正分」と補記し、対象となる個人別明細書のみ提出してください。

⑧□（特定増改築等）住宅借入金等特別控除については、控除区分の記載誤りにご注意ください。
＊制度の概要は、国税庁「令和８年分年末調整のしかた」等により確認してください。
□年末調整の際、所得税において控除しきれない（特定増改築等）住宅借入金等特別控除の金額がある場合は、「住宅借入金等特別控除可能額」欄を記載してください。
□「給与所得者の（特定増改築等）住宅借入金等特別控除申告書」により、２以上の住宅の取得等又は「住宅の増改築等に係る住宅借入金等」の金額がないか確認してください。該当する場合は、その住宅の取得等ごとに居住開始年月日、控除区分及び年末残高を記載してください。

⑩□退職された方については、「退職」欄に〇を付し、退職日を記載してください。
＊休職中又は退職予定の方で、令和９年度において特別徴収できない方については、本欄には記載せず摘要欄に「普Ｆ」と記載し、普通徴収対象者に含めてください。

⑪□受給者の生年月日に記載漏れがないようご注意ください。